

翠	1 ●	路	2 ●	勝	2 ●	新	1 ○
微	○	近	●	地	●	年	○
桃	2 ○	波	1 ○	梅	① ○	且	2 ●
葉	●	平	○	花	○	醉	●
大	3 ●	残	5 ○	風	4 ○	一	3 ●
江	○	照	●	満	●	声	○
前	◎	紫	●	天	◎	先	◎

翠	1 ●	路	2 ●	勝	2 ●	新	1 ○	A
微	○	近	●	地	●	年	○	
桃	2 ○	波	1 ○	梅	① ○	且	2 ●	
葉	●	平	○	花	○	醉	●	
一	3 ●	残	5 ○	風	4 ○	一	3 ●	
灯	○	照	●	満	●	声	○	
前	◎	紫	●	天	◎	先	◎	

A (平起式) の作り方

(1) たとえば、春の季節をうたおうとすれば「春の詩」分の1と6表の語句を選んで単純に右側から並べてみます。

(2) 注意点にしたがい、間違いを訂正します。

【2行目2段目 ①】

注意口にしたがい(Ⅱ①の箇所)●印が付いた言葉を入れてはいけない)、●印が付いた言葉を入れないように注意します。

「梅花」の「梅」は●印が付いていないので良い。

【4行目3段目 3】 「一灯前」 ↓ 「大江前」

注意口にしたがい(Ⅱ同じ文字を2回使用しない)、**「一灯前」**の「一」が1行目3段目の「一声先」の「一」と重複するので、「大江前」に変更します。

(3) 最後に題名を選びます。

この詩の場合は、詩の中にも「新年」という言葉があるので「迎春」と題するのが良いでしょう。

桃	2 ○	天	1 ○	翠	1 ●	南	2 ○
葉	●	含	○	微	○	浦	●
梅	① ●	春	2 ○	空	2 ○	波	① ●
花	○	入	●	碧	●	平	○
樹	4 ●	江	6 ○	竹	3 ●	何	4 ○
満	●	湖	○	間	○	処	●
川	◎	闊	●	泉	◎	船	◎

桃	2 ○	天	1 ○	波	1 ●	南	2 ○
葉	●	含	○	紋	○	浦	●
翠	① ●	春	2 ○	空	2 ○	北	① ●
微	○	入	●	碧	●	枝	○
樹	4 ●	江	6 ○	竹	3 ●	何	4 ○
満	●	湖	○	間	○	処	●
川	◎	闊	●	泉	◎	船	◎

B

B (仄起式) の作り方

(1) 1〜6表の語句を単純に左側から並べてみます。

(2) 注意点にしたがい、間違いを訂正します。

【1行目2段目①】 「北枝」↓「波平」

注意口にしたがい(Ⅱ①の箇所)●印が付いた言葉を入れては
いけない)、●印が付いた「北枝」を「波平」に変更します。

【4行目2段目①】 「翠微」↓「梅花」

注意口にしたがい(Ⅱ①の箇所)●印が付いた言葉を入れては
いけない)、●印が付いた「翠微」を「梅花」に変更します。

【2行目1段目1】 「波紋」↓「翠微」

注意口にしたがい(Ⅱ同じ文字を2回使用しない)、
「波紋」の「波」が「波平」の「波」と重複するので「翠微」に変更し
ます。

(3) 最後に題名を選びます。

この詩の場合は、詩の中に「春入」「桃葉」「梅花」など
の言葉があるので「春」と題するのが良いでしょう。